

くらしのすまいりんぐ

地球と人に優しい家づくり・くらしづくりの情報広場

2018年12月1日発行
NO.0066
発行責任者：(有)文化舎東毛
〒376-0101
みどり市大間々町大間々1190-4
☎0277-73-4850

今月の話

1. 今月の話題 ～ラグビーロス～
2. 建築知識 ～陽の温もりで暖房～
3. 「ながら運転」の罰則強化
4. 時事ネタ ～日本は水害が起りやすい地形!?～
5. ハイブリッドソーラーハウス
6. 辛口コラム ～香港の抗議活動～



今月の話題 ☆ラグビーロス☆



今年は、ラグビーワールドカップが日本で開催されました。日本チームの活躍により、ラグビーファンになった方も多いようで、ワールドカップの後も、試合がみたいという方が多くいるそうです。

ラグビーワールドカップの盛り上げに、「半沢直樹」「下町ロケット」などの著者 池井戸潤の小説をドラマ化

した「ノーサイド・ゲーム」が貢献したと言われています。設定、登場人物、放映時期の歯車が噛みあい、ラグビーワールドカップがみたい！という雰囲気を作り上げました。また、ドラマでは蹴球協会とされていましたが、アマチュア精神の押し付けや、理事が権力を持つ日本のラグビー業界の問題にもメスを入れており、とても意義のあるドラマだったのではないのでしょうか。



ラグビーをマナーのスポーツ、集団プレーの理想のように取り上げている報道をみかけますが、実際には理想の押し付け、管理に使う指導者もいるとかいないとか。学校、消防、警察でもいじめがあるように、ラグビー関係者が皆、ONE TEAM や、ノーサイドの精神を持っている訳ではないのは残念です。

ただ、日本代表チームは、本当に素晴らしかったし、ラグビーをまたみたいという気持ちになりました。全国大学ラグビーフットボール選手権大会は11月24日から始まっており、全国高校ラグビーフットボール大会が12月28日から、そして日本代表選手も参加している社会人チームが戦うトップリーグが2020年1月12日から始まります。せっかく覚え始めたラグビーのルールを忘れないためにも、応援してみたいかがでしょうか。

早いもので、今年も残りわずかとなりました。毎月ご愛読いただきありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いたします。

建築知識 ～陽の温もりで暖房～

昔から太陽の温もりを活かして暖かく暮らすとする思いは、縁側で日向ぼっこなどが実行されてきました。暖房システムで家全体を暖かくするのが当然の西欧でも、太陽の温もりを利用する方法が試みられています。これには1つ欠かさないコツがあります。

陽の温もりは昼間しかなく、暖房は夜を中心に欲しい。そのため太陽の温もりを蓄えておく必要があります。水タンクやコンクリートが使われます。

私は、お金がかからず永久に水漏れの心配もないコンクリートを使います。床下をコンクリートで埋め、その中一面に配管を埋め固め、表面に床板を張ります。太陽熱でお湯を温めるのは昔からある手法なので、このお湯を日照時間中ずっと床下の配管に循環してやると、床のコンクリートが温もりを蓄えます。

こうして床一面のコンクリートを温めてやるとその温もりは一晩中、さらに明朝までも家を暖めます。しかもこれを毎日続けていると、不思議なことに家全体が冬の間ずっと暖かいのです。暖房期が済んだら太陽はお湯沸かしに切り替えれば、一年の半分はお風呂のお湯沸かしは殆んどタダ。

日本では関心が薄いのですが、西欧では「地球温暖化」は今や重大なキーワード。これから世界人口が100億に迫る時代に、暮らしに自然の力をどう活かすかを考え実践するのは、もはや人間の義務ともいえるのです。



「ながら運転」の罰則強化

スマホを操作しながら車やバイクを運転する、「ながら運転」の罰則が**12月1日**から強化されます！！

概要

- 事故などを起こさなくても、懲役刑を受ける可能性があります！
- 事故を起こした場合などは、反則金が適用されず、即、罰則（懲役・罰金）が適用されます！

運転中の「ながらスマホ」厳罰化の背景として・・・

スマホや携帯電話での通話や画像を見ながら運転する、いわゆる「ながらスマホ」。「ながらスマホ」を原因とする交通事故が増加傾向にあるため。

スマートフォンなどを使用しながら車を走行させる「ながら運転」について、違反点数と反則金を約3倍に引き上げ、懲役刑も重くするなど厳罰化した改正道交法の執行令が決まりました。危険な走行は「あおり運転」も含め社会問題化しており、今回の改正を機に事故の抑止や運転マナー向上が期待されています。

詳しくは右記のQRコードからアクセスしてください。



「ながら運転」厳罰化

		違反点数	罰則
携帯電話使用等	保持	3点	6月以下の懲役または10万円以下の罰金
	交通の危険	6点	1年以下の懲役または30万円以下の罰金
反則金	保持	大型車	2万5000円
		普通車	1万8000円
		二輪車	1万5000円
		原付車	1万2000円



時事ネタ

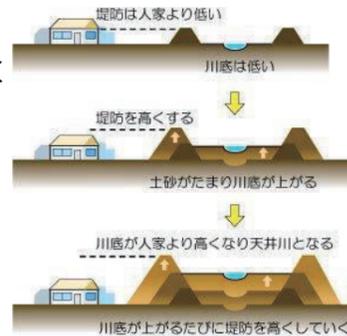
～日本は水害が起こりやすい地形！？～ 【水防シンボルマーク】

台風や集中豪雨などによって、毎年のように水害が発生しています。また、今年の秋に発生した台風 15 号や 19 号でも大きな被害をもたらしました。水害による被害を少なくするために重要なのが、国や自治体などの行政（公助）と、住民一人ひとりの取組（自助）、そして「水防（消防）団」を核とした地域住民による「水防活動」（共助）です。水防活動とはどのようなものか、また、それぞれの家庭ではどのような水害の備えをしておくべきなのでしょうか。



■ 日本は水害が起こりやすい地形

- 平成 18 年から 27 年までの 10 年間に一度も河川の氾濫などによる水害が起きていないのは、わずか 49 市区町村（2.8%）に過ぎません。
- 日本の川の水は山から海へ一気にかけ下る。世界の代表的な河川と比べると、日本の河川が急勾配
- 日本の河川は川の長さが短く、上流から下流への勾配が急であるため、一気に海へ流れるのが特徴。このため、いったん雨が降ると、急に増水し短時間のうちに洪水のピークになります。
- 川に流れる土砂が多い川では、堤防を作って流路を固定すると、土砂がたまり川底が上がります。洪水を流せなくなるため堤防を高くしていき、天井川になってしまいます。



■ 家庭ではどんな備えが必要??

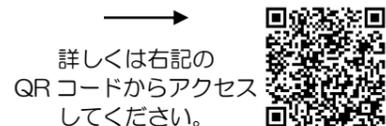
- ① 「水害ハザードマップ」で家や地域の水害リスクを知る
- ② 避難場所、避難経路を事前に確認する
- ③ 非常時の持ち出し品を事前に準備する



食料品	飲料水、乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰
医薬品	救急医薬品、常備薬、マスク、生理用品
貴重品・お金	現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証、身分証明書
衣類	下着、タオル、寝袋、雨具、軍手、靴
日用品	ナイフ、缶切り、鍋、水筒、懐中電灯、ラジオ、電池、ロープ、マッチやライター、使い捨てカイロ、ティッシュペーパー、筆記用具、ゴミ袋
その他	防災ずきんやヘルメット

④ 家族が離れているときの安全確認の方法を決めておく

→ 通信会社では災害時の安否確認のために「**災害用伝言サービス 171**」を提供しています。



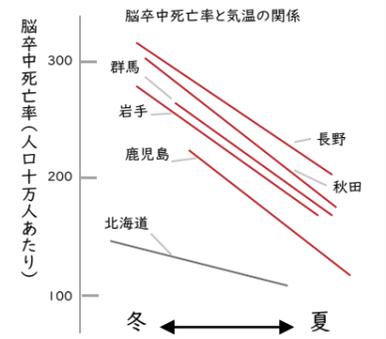
ハイブリッドソーラーハウス ～冬のお風呂～

寒い時期に多い入浴中の死亡事故。「浴室が寒くて湯温が高いため血圧が急上昇して心筋梗塞や脳卒中が起こる」と考えられてきました。しかし、このことが原因だと断定できるケースは僅か 1 割程度で、実は、かなり多くの人達が不思議な“謎の溺死”をしている、ということが浮かび上がってきました。

さらに入浴事故が起こった際の湯温を調べた研究結果によると、最も入浴時に死者が多いのは、少し熱めの 42～43℃であることが分かりました。（浴室と脱衣所の温度差があるため、湯温が高くなると考えられる。）

ハイブリッドソーラーハウスでは、**部屋ごとの温度差が少ない**ので、ヒートショックのリスクが軽減されます！！

ヒートショック（温度のバリア）廊下やトイレや洗面・脱衣室が寒い、といった家の中でのひどい温度差が特に高齢者には危険となります。日本では当たり前の「暖房便座」は、日本にしかありません。暖房された家の中でトイレが寒いと言うことは考えられないからで、「浴室暖房乾燥機」も西欧人には考えつけないものです。



右図は気温と脳卒中死亡率の関係グラフですが、長野県や群馬県やそれどころか鹿児島県も、最も寒い北海道よりも寒冷の影響を強く受けています。北海道は全室暖房が普及していて、家の中の温度差が少ないからでしょう。

全室 24 時間暖房と聞いただけで、光熱費を考えて拒否反応する人が大半ですが、**健康と安全に及ぼす影響の大きさを考え、それを低い光熱費で実現する方法、それがハイブリッドソーラーハウスです。**

辛口コラム ～香港の抗議活動～

香港の抗議活動は世界中の注視のなか、広範な市民の支持のもとに半年以上で続いています。事の起こりは犯罪者を本土の中国へ送ることができるという法律案からです。反中央政府論調の書を多く扱う書店主が拉致され中国へ送られたなどの情勢下では当然の騒ぎですが、抗議集会でのマスク禁止令が出されて更に火が広がりました。



街頭の監視カメラ BBC ニュースより

ではなぜ覆面が重要か。5 年前の傘運動の時は、リーダー達が逮捕投獄されたので、今回はハイテクを駆使してリーダー特定を困難にし、覆面もしています。実は、中国は街中に配置した監視カメラによる顔認識をする技術では世界一と言われ、監視カメラネットワークを「天網」と呼びます。すでに北京や上海近郊に

は設けられているようで、忠告のように政府に反抗する者を監視し排除する国で磨かれた技術と言えます。行政長官キャリー・ラムはこの防犯灯柱設置を発表後、個人情報漏洩や、政府の監視可能性ありと猛反発を受けました。

抗議活動の若者たちは防犯灯柱を倒し、中から中国製の監視用部品を見つけたと言っています。

民主化のための市民活動が裏でハイテクの闘いにもなっているのです。防犯カメラは市民生活を守る大切なものですが、為政者の姿勢次第で危険なものになりえます。市民各人が個人情報や自由を大切に思うことが重要です。



防犯灯柱を倒す若者 BBC ニュースより